

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【公開番号】特開 2019-213108 (P2019-213108A)

【公開日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2018-109139 (P2018-109139)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

B 6 0 R 1/00 (2006.01)

B 6 0 R 11/02 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 9 G 5/08 (2006.01)

G 0 6 T 7/00 (2017.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/18 J

G 0 8 G 1/16 C

B 6 0 R 1/00 A

B 6 0 R 11/02 C

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

G 0 9 G 5/36 5 2 0 K

G 0 9 G 5/08 E

G 0 9 G 5/00 5 1 0 A

H 0 4 N 7/18 G

G 0 6 T 7/00 6 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 12 日 (2021.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自車が走行中の道路において時系列的に異なる複数の時点で前記自車に搭載されたカメラによってそれぞれ撮影された複数の画像における、車線を区切る線の端点の位置に基づいて、前記道路のカーブの状態を検出する道路状態検出部と、

前記道路が直線であると仮定した基準状態での、前記画像に写った部分の、前記画像上における位置と現実空間での前記道路に沿った位置との対応関係を記憶した記憶部と、

前記道路状態検出部により検出された前記道路のカーブの状態に基づいて、前記記憶部に記憶された前記対応関係を補正する補正部と、を備えたキャリブレーション装置。

【請求項 2】

前記画像に写った他車を検出する対象認識部と、

前記補正部により補正して得られた前記対応関係に基づいて、前記対象認識部により認識された前記他車の、前記現実空間での前記道路に沿った位置を特定し、前記現実空間における前記自車と前記他車との前記道路に沿った距離を求める距離算出部を備えた請求項

1 に記載のキャリブレーション装置。

【請求項 3】

前記画像に写った他車を検出する対象認識部と、

前記補正部により補正して得られた前記対応関係に基づいて、前記対象認識部により認識された前記他車の、前記現実空間での前記道路に沿った位置を特定し、前記現実空間における前記他車が走行している車線を特定する走行車線検出部を備えた請求項 1 又は 2 に記載のキャリブレーション装置。

【請求項 4】

前記補正部により補正して得られた前記対応関係に基づいて、前記現実空間における前記他車が走行している車線を特定する走行車線検出部と、

前記走行車線検出部により検出された前記他車が走行している車線が、前記自車が走行している車線に隣接する車線であり、かつ、前記距離算出部により算出された距離が時系列的に短くなっているときは、前記他車の接近を報知する信号を出力する報知出力部と、を備えた請求項 2 に記載のキャリブレーション装置。

【請求項 5】

自車に搭載されて、反射鏡が備えられるべき部位に設けられた、前記自車の外部を撮影するカメラと、

前記カメラで撮影された画像を、前記反射鏡で反射して見たように左右反転した画像を表示する、前記自車の車室に設けられた画像表示装置と、

請求項 4 に記載のキャリブレーション装置と、を備え、

前記画像表示装置は、前記報知出力部から出力された信号により、接近する前記他車を強調する表示を行う電子ミラーシステム。